

今日の朝早くにサッカーのワールドカップの決勝戦があり、アルゼンチンが36年ぶりに優勝をしました。36年前の時は有名なマラドーナ選手の神の手と言われるゴールなどがありました。今回のアルゼンチンチームの大黒柱、メッシ選手は今回のワールドカップが最後の出場になるのではないかと言われていたので、最後に優勝できて本当に良かったと思います。

ワールドカップ中は朝早く起きるのが少ししんどかったですが、たくさんのいい試合があり、見ていてわくわくしました。たくさんの印象に残るプレーがありましたが、先生が一番印象に残っているのは、日本がクロアチアに負けたあとの森保監督のふるまいでした。

森保監督は客席に向かい、たった一人、体を90度折り曲げて一礼。遠くカタールまでかけつけ、120分間、声をからして応援してくれたサポーターに対する感謝を示しました。試合に負けて悔しい気持ちの時になかなかできることではありません。

また、選手が使うロッカーも試合後にスタッフの人たちがきれいに清掃したり、サポーターの人たちが客席をきれいに掃除したりしました。これらの行為は他の国の人たちからみても、とても褒められた行いでした。試合に負けた後は、悔しいのでなかなかこのような態

度はとれないと思います。人間は逆境にたたされた時にその人の本質が表れると言われています。逆境とはしんどかったり、苦しかったりする時のことと言います。みなさんも身近なところでは、スポーツの試合で負けた後や喧嘩をしてあやまらなければならない時など、これからいろいろな経験をすることがあると思います。そのような時にどういう態度をとるのかで、その人らしさが表れます。先生はこのワールドカップの試合を通じて、森保監督が好きになったし、また応援したいなと思いました。みなさんもまわりの人から応援したいな、と思われる人になるといいですね。